

「子育てするなら山形県」 誰もがそう誇れる社会を めざしています。

頼りになる近所のお兄さん、やさしく声をかけてくれるおばさん、悪いことをするとよその子どもで叱ってくれるおじいさん。たくさんの大人たちに包まれて愛情豊かに育つ子どもたち…。そんな理想の姿も、少子化・核家族化が進む中で消えつつあります。この愛情環境の希薄化は子育てそのものにも影響が出ています。子育ての「孤立化」は幼児虐待まで引き起こしています。「子どもを産み、育てること」に夢と自信をもてる社会が求められています。

そこで山形県では、知事を本部長とする「子育てするなら山形県」推進本部を立ち上げ、子育てを地域社会全体で理解し支え合う環境づくりに取り組んでいます。

※合計特殊出生率(山形県:昭和40年2.04 平成15年1.49)
平均世帯構成人数(山形県:昭和40年4.67人 平成15年3.20人)

ここに注目! みんなで「子育て応援団」!

県では、「子育て」を家庭で、地域で、みんなで応援する取り組みとして、「やまがた子育て応援団」事業を平成14年度から実施しています。具体的には、県内4地区にコーディネーターを配置し、子育てボランティアの養成、育児サークルの運営支援、子育て支援情報誌「ふぁみりい」の発行などを行っています。

また、この事業で誕生したボランティアの方々による、「空き店舗を活用した託児事業」や「イベント開催時の臨時託児所の運営」、「つどいの広場の運営」など県内各地で応援団の活動が広がりを見せています。



<あなたもぜひ応援団になりませんか? 現在募集中です.>

河北町(9月下旬)・長井市(10月上旬)・酒田市(10月下旬)で子育て応援団養成講座(託児サービスコース)を開催します。保育ボランティアに必要な基礎的な知識について学習します。関心のある方、ぜひご参加ください。

問い合わせ 「子育て応援団」村山事務所 ☎023(646)8590



子育て支援いろいろ

地域子育て支援センター

子育ての秘訣など専門知識を有する保育所などで、子育てに対する不安、悩み等についての相談や、育児サークルの運営支援などを行っています。専用のプレイルームを設置し、乳幼児とその保護者に遊び場の提供をしている施設もあります。【16年4月1日現在、45のセンターがあります。】

ファミリー・サポート・センター

乳幼児の一時的な預かりや、保育所の送迎など、育児の援助を受けたい人に援助が可能な人を紹介しています。【現在9市3町で実施しています。】

つどいの広場

商店街の空き店舗などを活用して、主に3歳までの乳幼児と保護者が気軽につどい、交流できる「つどいの広場」を設置・運営しています。



子育てランドあ〜べ

山形市:子育てランドあ〜べ(七日町 NANABEANS 5F) 9:00~17:00
鶴岡市:まんまルーム(駅前 マリカ東館3F) 9:00~18:00
河北町:空き店舗を利用し、今年11月に開設予定

保育所での一時保育

保育所に通所していない乳幼児でも保育所で一時的にお預かりしています。【現在127ヶ所の保育所で受け入れすることができます。】

「子育て支援」に関する問い合わせ 児童家庭課 ☎023(630)2259

「山形県子育て支援情報」は県ホームページでご覧になれます。

行って見て聞いて 施設情報

散策しながら薬草を覚えよう! 「県薬用植物園」

(寒河江市長岡山)



薬用植物園は、寒河江市内を一望できる長岡山の中腹に位置する県森林研究研修センター内にあります。4,000㎡の園内に約700種の薬用植物が民間薬植物区、漢方薬原料植物区などに分かれて栽培されています。山菜と間違いやすい有毒植物も栽培されているので、その違いを覚えるにも便利です。

さらに、最近特に人気なのが「ハーブ苑」。カモミール、ローズマリー、ミントなど約170種ものハーブが用途別に植えられており、香りを楽しみながらハーブについて学習できます。ハーブは精神を落ち着ける効果もあります。癒しの香りの中でリラックスしてみませんか。

利用方法

開園時間 午前9時~午後4時(月~金)
入園料 無料
外の受付簿に記入するだけで自由に散策できます。

参加してみませんか?

薬用植物講習会 9月12日(日)
午前10時~正午

事前申込が必要です。

申込先 山形県薬剤師会 ☎023(622)3484

●お問い合わせ

県薬用植物園 ☎0237(84)4301
<http://www.pref.yamagata.jp/kf/hoken>

■ちょっと寄り道

旧西村山郡役所・慈恩寺、
最上川ふるさと総合公園

県民のあゆみ



製品の実用化に向け、研究所で白色発光パネルの試作に励む研究員

世界を照らせ! 有機の光 山形有機エレクトロニクスバレー構想が 動き出しました

厚さ1mmもない薄いシートが美しく光る。さらに柔らかく曲がる。これが「有機EL(イーエル)」と呼ばれるもので、液晶などに変わる次世代ディスプレイの本命として注目を集めています。県は昨年度、この有機ELを核とした山形有機エレクトロニクスバレー構想を打ち出し、7年間の大型プロジェクトとして取り組んでいます。

その研究拠点となる有機エレクトロニクス研究所では、共同研究企業の参画のもと実用化に向けた本格的な研究が進められています。具体的には、有機発光パネルの試作を行いながら、電球や蛍光灯に替わる新しい照明の開発や有機ELを量産化するための製造技術の開発などを行っています。開発された技術は企業に移転し、地域企業の技術の更なる向上を図ります。また、有機エレクトロニクス関連産業を山形に集積することで地域の新しい産業おこしをめざしていきます。

有機ELを使ったMade in Yamagataのさまざまな新製品を世界へ発信できる日はそう遠くはないかもしれません。

有機ELに関する問い合わせ 工業振興課 ☎023(630)2696



昨年11月に米沢市の八幡原中核工業団地にオープンした有機エレクトロニクス研究所

ひと言メッセージ



有機エレクトロニクス研究所所長
城戸 淳二さん
(山形大学工学部 教授)

有機ELは、プラスチックなどの有機物を用いた半導体デバイス的一种です。シリコンなどの無機物を用いた半導体デバイスより、省エネ効果が大きく、しかも低コストで製造できる革新的な技術です。有機EL、有機トランジスタ、有機太陽電池、有機メモリーなど、有機半導体産業という新しい巨大な市場が拓けると期待されています。また、県内産業の活性化のみならず、教育面でも山形大学工学部と連携し、世界に通用するトップクラスの技術者を山形から生み出して行きたいと思っています。

研究所ホームページ <http://www.organic-electronics.jp/>

毎月1日発行
編集発行/山形県総務課広報室
〒990-8570 山形市松波二丁目8番1号
☎023(630)2089

白色発光の発明が 有機ELの歴史を変えた?

有機物を光らせる研究は、1960年代から行われていましたが、どうしても白色の光を作り出せませんでした。

しかし、1993年城戸教授が、失敗した実験をヒントに、白く光る有機ELを世界で初めて発明しました。

白色発光の発明によりあらゆる色の表現ができるようになり、有機ELが大きく脚光を浴びるようになりました。

有機ELを使えば、より薄く軽量な製品が可能のため、「次世代ディスプレイ」として、また「面が光る」=「面発光」という特徴を生かし「次世代照明」としてもその可能性を大きく広げています。



すでに携帯電話の背面ディスプレイなどに実用化されています

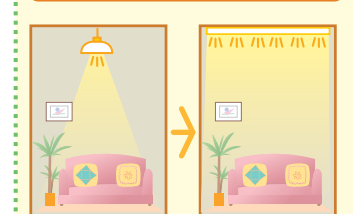
有機ELを使った将来の姿を のぞいてみよう!

●テレビなどのディスプレイは・・・



液晶と比べ、より鮮明で滑らかな画像が映し出されます。薄くて場所もとりません。

●照明は・・・



これまでは蛍光灯などの光源を反射板や拡散させるカバーで明るくしていました。これからは、シート状になり、天井にはりつければ、天井全体を光らせることもできます。柔らかな光で、省エネ効果も抜群!



義経・弁慶伝説の「産湯・足湯」を設置

最上

最上地域には、義経・弁慶伝説が数多く伝えられています。

源義経一行が頼朝に追われて平泉に向かう途中、亀割峠で生まれた義経の子供(亀丸)のために産湯を探していた弁慶が、瀬見温泉を発見したといわれています。

最上総合支庁、最上町と瀬見温泉旅館組合が連携し、瀬見温泉発見のシンボルとして産湯のモニユメントを設置しました。

その産湯は、手湯として源泉に触れることができ、そこから流れ出た源泉は足湯として楽しめます。

ゆっくり足湯につかりながら、最上の義経・弁慶伝説に思いをめぐらせてみませんか。

■問い合わせ 最上総合支庁 商工労働観光課 ☎0233(28)1534



置賜の森林からのメッセージ運動

置賜

置賜総合支庁では、今年度から児童・生徒を対象に森林の大切さを伝えていく『置賜の森林からのメッセージ運動』を進めています。この運動は、学校の授業や子供会活動で森林教室等を行う場合に、森林インストラクターなどの講師を派遣したり、クラフト材料、きのこの菌などを提供したりする運動です。

これまでに約20件近い申し込みがあり講師の派遣や資材の提供などを行ってきましたが、森林の学習に大いに役立ったと大変好評を得ています。現在も申し込みを受け付けておりますので、ぜひこの機会に森林について学んでください。

■問い合わせ:置賜総合支庁 森林整備課 ☎0238(26)6063



各総合支庁では総合案内窓口を設置しております。お気軽にご利用下さい。
村山:☎023(621)8288 最上:☎0233(28)1500 置賜:☎0238(26)6000 庄内:☎0235(66)2121

進めています! 行財政改革

取り組みその2

パブリック・コメントを推進しています

パブリック・コメントとは、計画づくりなどに際し、原案を公表し、それに対する県民の皆さんの意見をいただき、最終的な計画決定に反映していく仕組みのことをいいます。

昨年度は、情報公開条例の改正や新行財政改革大綱など10件について実施し、貴重なご意見をいただき充実したものを策定することができました。

本年度も20件を予定しており、順次県のホームページのほか、県庁1階の行政情報センター、各総合支庁の総合案内窓口などを通して意見を募集しますので、それぞれの原案について皆さんのご意見をお寄せください。

16年度 今後の主なパブリック・コメント実施予定案件

総務部

- 山形県次期総合計画
- 山形県過疎地域自立促進方針(後期対策)

文化環境部

- 山形県新環境計画
- 山形県省エネルギービジョン

健康福祉部

- 山形県次代を担う子どもの育成支援行動計画(仮称)
- 山形県老人医療費適正化推進計画

商工労働観光部

- 山形県次期産業ビジョン

農林水産部

- 山形県農林水産業振興計画
- 山形県協同農業普及事業の実施に関する方針

土木部

- 平成16年度山形のみちの業績計画書
- 飽海地区2級水系河川整備計画

教育庁

- 山形県子どもの読書推進計画(仮称)

■問い合わせ 新行財政システム推進課
☎023(630)3114
Email:shingyoza@pref.yamagata.jp

試験

県立産業技術短期大学校入学試験

- ◆試験日 9月27日(月)
- ◆募集科 産業情報専攻科(1年課程)
- ◆出願期間 9月6日(月)～9月17日(金)
- ◆募集定員 10名
- ◆出願資格 本学、短期大学、高等専門学校またはこれに相当する教育機関を修了した方(平成17年3月に修了見込みの方を含む。)
- 問合せ 同校☎023(643)8431

お知らせ

不妊治療費を助成します

特定不妊治療(体外受精及び顕微授精)を受けている夫婦に対して、1年度あたり10万円、通算2年間を限度に助成します。

- ◆助成対象 次の全ての要件を満たす方
- ①県内に住所を有する夫婦(いずれか一方でもよい)
- ②所得額の合計が650万円未満である夫婦
- ③県が指定する医療機関で特定不妊治療を実施した夫婦
- 問合せ 児童家庭課 ☎023(630)2318

または各保健所地域保健予防課

ご案内

美しい山形クリーンアップキャンペーンに参加してみませんか

3人以上集まれば、期間中いつでも、どこでも、誰でも参加できるクリーンアップ活動です。活動経費として1グループあたり5千円を支援します。

- ◆活動場所 県内の河川・海岸
- ◆実施時期 9月～10月の都合のよい日
- ◆実施方法 3～4人一組になり、ゴミの種類と数を記入しながら回収していきます。
- ◆申込方法 日時と場所を決めて下記事務局まで連絡してください。
- 問合せ 美しい山形・最上川フォーラム事務局(文化振興課内) ☎023(630)2284

山形ニュータウン「蔵王みはらしの丘」16年秋 更地分譲開始

- ◆申込 9月18日(土)～10月3日(日)
- ◆募集区画数 15区画
- ◆区画面積 77坪～127坪
- ◆分譲価格帯 9,809,000円～16,890,000円
- 問合せ UR都市機構

蔵王みはらしの丘
総合案内所
☎0120(34)3804
ホームページ
http://www7.ocn.ne.jp/~jrdc.y/



県内4大学共同講座 テーマ:「新時代の地域形成と大学」

山形大学、東北芸術工科大学、保健医療大学、東北公益文科大学の4大学で構成する「大学コンソーシアムやまがた」では、このたび各大学の教授陣などによる共同講座を開催します。

◆日時・会場(いずれも土曜日午後の開催となります)

新庄会場	9月18・25日、10月2日	新庄市民プラザ
米沢会場	10月23・30日、11月6日	伝国の杜 ほか
山形会場	12月4・18日	遊学館
酒田会場	12月4・18日	酒田市総合文化センター

※各会場とも連続で受講できる方を対象とします。

◆内容 4大学選出講師による講演

■問合せ 学術振興課 ☎023(630)3052

催し物

山形文化フォーラム【第3回秋】 「芭蕉と義経 最上川―心廻らすみちのくの旅」

松尾芭蕉の生誕360年を記念し、山形を訪れた文人の軌跡を辿りながら県内の文化資源を再発掘します。

- ◆日時 9月11日(土)午後1時～3時
- ◆会場 新庄市民プラザ
- ◆講師 榎田隆史氏(ジャーナリスト)

黛まどか氏(俳人)

◆参加費 資料代として500円

■問合せ 申込 文化振興課 ☎023(630)2903

空港のイベント

イベント名	内 容
「山形空港フェスティバル」2004 9月18日(土) 午前9時15分～午後3時	40周年記念写真パネル展、防災ヘリ等の飛行訓練、管制塔内見学(要事前申込)、飛行機を牽引するトーイングカー体験搭乗(先着50名当日受付)、航空機外観見学(先着60名当日受付)ほか
庄内空港「空の日」フェスタ 9月25日(土) 午前9時45分～午後3時	防災ヘリの飛行訓練、エアーテント設置訓練、航空教室(要事前申込)、ラジコンによる曲芸飛行、モーターパラグライダーのデモフライト ほか

事前募集の申込方法(多数の場合は抽選)

◆管制塔内見学(山形空港)

親子(親1名に中学生以下の子ども3名まで)10組

◆航空教室(庄内空港)

小学生と保護者(1名ずつ)20組

内容:滑走路・管制塔・測候所の見学

◆応募方法 往復はがきに①住所②氏名③年齢(学年)④学校名(航空教室のみ)⑤電話番号を記入し、希望のイベントを明記のうえ郵送してください。

◆締め切り 管制塔内見学／9月7日(火)必

着 航空教室／9月10日(金)必着

■問合せ 申込 〒999-3776東根市大字羽入字柏原新林3008 山形空港事務所
☎0237(48)1313

〒998-0112 酒田市大字浜中宇村東30-3
庄内空港事務所 ☎0234(92)4123

各「空の日・空の旬間」イベント実行委員会まで

山形県動物愛護フェスティバル

◆日時 9月23日(木／秋分の日)

午前10時～午後3時

◆場所 村山保健所前広場

◆内容 ペットの無料健康相談、動物ふれあいコーナー、警察犬・介助犬の実演、犬猫の正しい飼い方、犬猫の新しい飼い主探し、ペット似顔絵コーナー(東北芸術工科大生による似顔絵の実演)

■問合せ 保健業務課

☎023(630)2329



山形県世界遺産育成シンポジウム

世界遺産にも匹敵する、本県の優れた歴史、文化、自然などを全国に発信しながら今後の取り組み方について検討します。

◆日時 10月12日(火)午後1時30分～

◆会場 遊学館ホール

◆内容 基調講演 西村幸夫氏(東京大学大学院教授)

パネルディスカッション「誇れるやまがたを未来に」 出演者 寒河江浩二氏(山形新聞社論説委員長)、千歳栄氏(千歳建設社長)ほか

■問合せ 申込 政策企画課 ☎023(630)2680

県政に参加してみませんか

山形県新環境計画に関する意見聴取会

県では、地球温暖化などの新たな課題に対応した新環境計画の策定に向けた検討を進めています。そこで、環境保全・リサイクル・温暖化対策などについて広く意見をいただきたいと考えております。県民の皆さんや事業者の方の参加をお待ちしております。

※現行の環境計画は、県ホームページに掲載しています。

◆日時・会場

9月6日(月)	最上総合支庁 講堂
9月6日(月)	庄内 //
9月8日(水)	村山 //
9月9日(木)	置賜 //

◆時間 午後1時30分～3時30分

◆参加者 県民の方、事業者、環境保全NPO団体など

■問合せ 環境企画課 ☎023(630)2336

または各総合支庁環境課